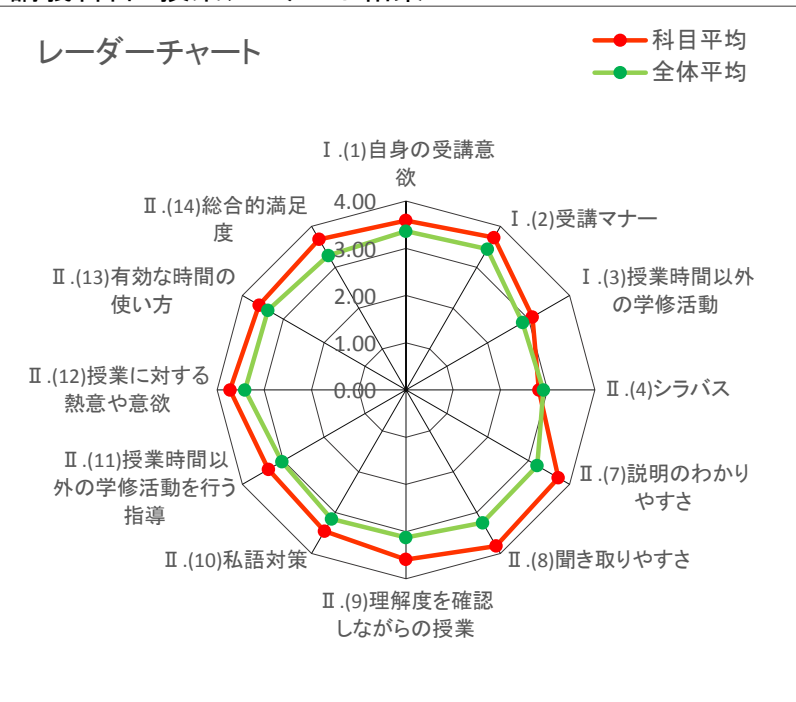
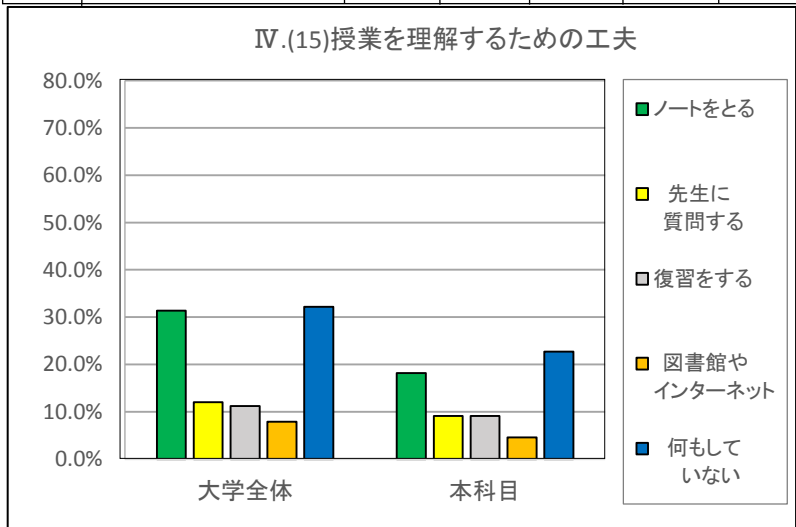


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	18.2%	9.1%	9.1%	4.5%	22.7%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	25102
科目名	子どもと環境
教員名	

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.59	3.36
	I.(2)	3.73	3.45
	I.(3)	3.09	2.86
受講内容・方法	II.(4)	2.82	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.73	3.21
	II.(8)	3.82	3.25
	II.(9)	3.59	3.13
	II.(10)	3.45	3.16
	II.(11)	3.36	3.04
	II.(12)	3.73	3.41
	II.(13)	3.59	3.37
満足度	II.(14)	3.68	3.29

①授業計画の達成度について

本授業では、保育者として、子どもの遊びの質を高めるには、どのような環境を用意する必要があるか等、幼児の発達を考慮した環境構成のあり方を学ぶことを目的としている。

23名の履修者であり、それぞれが幼児教育に対して非常に関心を高くもっていた学生であったので、授業計画+αとして、保育教材開発を取り入れた。プレゼンテーションの時間も取り、自分達で作った保育教材の相互評価も行った。授業計画の達成度では、計画以上の達成を得ることができたと思う。

②授業の進め方について

授業では、前年度に「生活の理解」(小学校教諭免許取得の必修科目)を受講していた学生達であったので、「生活の理解」で学んだことも復習しながら、講義を進めた。(幼稚園教育要領:領域「環境」と「生活の理解」は、教育内容が似ているため)

また、フィールドワークやネイチャーゲーム、保育教材開発、本物の種を見比べてみる活動などを取り入れ、具体的・直接的体験の大切さが実感できるように心がけて講義を進めた。

教科書は、予習課題としてレポートを提出させた。学生達は、ほぼ、全ての課題をこなすことができたので、その意識の高さがすばらしいと思った。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.47	3.22
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.51	3.18
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.68	3.29
III.(14)		

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

自身の受講姿勢や講義内容・方法、総合的満足度は、いずれも全体平均より高いのだが、これは、学生自身の授業に対する意欲の高さであると言える。選択科目であり、「学びたい」と思っている学生が受講しているのだから、高評価に関しては当たり前の結果であるとも思える。

今後の授業改善計画であるが、今後も具体的・直接的体験を重視し、まずは、自分達がフィールドワークやネイチャーゲーム等を体験し、そこで得た実感を言語化し、子どもにとって良い環境づくりとは何かを追及し続けることができる姿勢を育てたいと思う。